

「アファーマティブ・アクションについて考えよう」ワークシート①

【事例】

日本では、政治分野における女性の参画は徐々に進展しているものの、衆議院議員に占める女性の割合は約10%であって世界193か国中「158位」と低く、特に、先進諸外国との格差は大きいとされています。国民の構成比率は概ね男女が半々であるにもかかわらず、議会の場に女性が少ないことにより、女性の視点や母親としての声が政策に反映されていないのではないかと問題意識が提唱されています。

【ここからは架空の内容です】

そのような中、政府は、次回の国政選挙から、国会議員の議席の40%を予め女性に割り当てることとし、残りの60%はこれまでどおりの方法で選挙を行うこととしました。

「アファーマティブ・アクション」

→ 社会的・構造的な差別によって不利益を被ってきた人々に対して、一定の範囲で特別の機会を提供するなど、実質的な機会均等を実現するために講じる暫定的な優遇措置のこと

【問1】 【個人ワーク】 女性議員の比率が低いことにより、どのような問題が生じるだろうか。

【理由】

【問2】 【個人ワーク】 政府による議席の女性枠の導入は公正だろうか（納得できるだろうか）。

☐ 公正だ（納得できる） ・ ☐ 公正ではない（納得できない）

【理由】